



コントロールセンターを利用する

iPhoneでは、コントロールセンターからもさまざまな設定を行えるようになってきました。ここでは、コントロールセンターの各機能について解説します。

1 コントロールセンターで設定を変更する

- ① 画面右上から下方向にスワイプします。



- ② コントロールセンターが表示されます。上部に配置されているアイコン（ここでは青表示になっているWi-Fiのアイコン）→ [OK] の順にタップします。

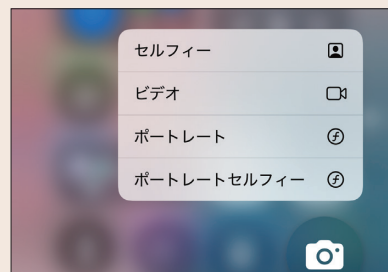


- ③ アイコンがグレーに表示されてWi-Fiの接続が解除されます。もう一度タップすると、Wi-Fiに接続します。画面の下端から上方向にスワイプすると、コントロールセンターが閉じます。



MEMO コントロールセンターの触覚タッチ

コントロールセンターの項目の中には、触覚タッチで詳細な操作ができるものがあります。



2 コントロールセンターの設定項目



- ① 機内モードのオン／オフを切り替えられます。

- ② AirDropのオン／オフを切り替えられます。

- ③ Wi-Fiの接続／未接続を切り替えられます。

- ④ モバイルデータ通信やBluetooth機器などの接続／未接続を切り替えられます。

- ⑤ 音楽の再生／停止／早送り／巻戻しができます。

- ⑥ iPhoneの画面を縦向きに固定する機能をオン／オフできます。

- ⑦ 消音モードに切り替えることができます (P.54MEMO参照)。

- ⑧ 集中モードの設定ができます。

- ⑨ 上下にドラッグして、画面の明るさを調整できます。

- ⑩ 上下にドラッグして、音量を調整できます。

- ⑪ フラッシュライトを点灯させたり消したりできます。明るさなどを選択することもできます。

- ⑫ 「時計」アプリのタイマーが起動します。タッチすると簡易タイマーが表示されます。

- ⑬ 「計算機」アプリが起動します。

- ⑭ 「カメラ」アプリが起動します。タッチするとカメラモードを選択できます。

- ⑮ 音楽や動画をAirPlay対応機器で再生することができます。

- ⑯ コードスキャナーが起動します。QRコードなどを読み取ることができます。

MEMO コントロールセンターの切り替え

iOS 18からコントロールセンターの右にグループのアイコンが表示されており、■をタップするとコントロールセンター、■をタップすると音楽の再生、■をタップすると機内モードやWi-Fiなどのオン／オフが一覧で表示されます。また、画面を上下にスワイプすることでも切り替えることができます。



音量・着信音を変更する

着信音量と着信音は、「設定」アプリで変更できます。標準の着信音に飽きてきたら、「設定」アプリの「サウンドと触覚」画面から、新しい着信音を設定してみましょう。

着信音量を調節する

1 ホーム画面で[設定]をタップします。



2 「サウンドと触覚」をタップします。



3 「着信音と通知音」の○を左右にドラッグし、音量を設定します。



MEMO 通話音量を変更する

通話音量を変更したいときは、通話中に本体左側面の音量ボタンを押して変更します。



好きな着信音に変更する

1 P.52手順①～②を参考に「サウンドと触覚」画面を表示し、「着信音」をタップします。



2 任意の項目をタップすると、着信音が再生され、選択した項目が着信音に設定されます。「サウンドと触覚」をタップして、もとの画面に戻ります。

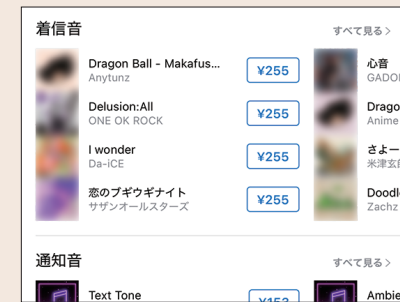


3 [メッセージ] をタップすると、メッセージ着信時の通知音を変更することができます。



MEMO 着信音を購入する

着信音は購入することもできます。手順②の画面で「着信音/通知音ストア」をタップすると、「iTunes Store」アプリが起動し、着信音の項目に移動します。なお、着信音の購入にはApple Account (Sec.15 参照) が必要です。



Apple Accountに 支払い情報を登録する

iPhoneでアプリを購入したり、音楽・動画を購入したりするには、Apple Accountに支払い情報を設定します。支払い方法は、クレジットカード、キャリア決済などから選べます。ここでは、クレジットカードでの手順を紹介します。



Apple Accountにクレジットカードを登録する

① ホーム画面で[設定]をタップします。



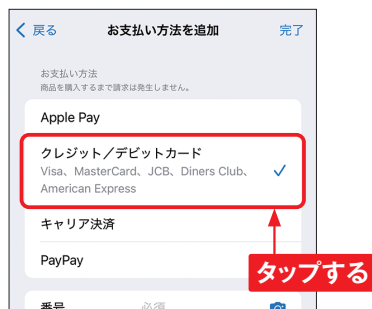
② 自分の名前をタップします。



③ [お支払いと配送先] をタップします。



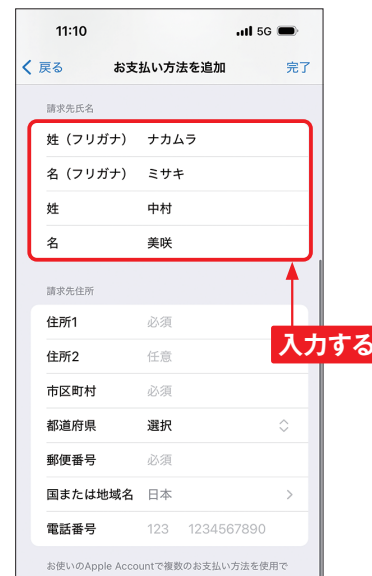
④ [クレジット/デビットカード] にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合はタップしてチェックを付けます。



⑤ カード番号、有効期限、セキュリティコードを入力したら、「請求先住所」の自分の名前をタップします。



⑥ 請求先氏名を入力します。



⑦ 請求先住所や電話番号を入力し、「完了」をタップします。



MEMO クレジットカードを持っていない場合

クレジットカードを持っていない場合は、キャリア決済やApple Pay、PayPayのほかに、Apple Gift Cardを利用できます。Apple Gift Cardを利用する場合は、ホーム画面で [App Store] をタップし、👉 [ギフトカードまたはコードを使う] の順にタップして、画面に従ってコードを登録します。



iMessageの 便利な機能を使う

「メッセージ」アプリでは、音声や位置情報をスムーズに送信できる便利な機能が利用できます。なお、それらの機能を利用できるのは、iMessageが利用可能な相手のみとなります。

メッセージで利用できる機能

メッセージでは、iMessageに対応したアプリやメッセージ効果を利用して、メッセージを装飾することができます。

● 主な機能



① 写真を撮影して送信できます (P.91参照)。

② メッセージに写真や動画を添付できます (P.90参照)。

③ ステッカーを送信できます。

④ メッセージに音声を添付できます。

⑤ メッセージの送信予約をすることができます (P.89参照)。

⑥ iMessage対応アプリをダウンロード可能な「ストア」、位置情報を共有できる「位置情報」(P.87参照)、GIF画像の検索と送信が可能な「#画像」、タップやスケッチなど動きの送信が可能な「Digital Touch」、ミー文字の作成と送信が可能な「ミー文字」、「ミュージック」アプリ (Sec.30 ~ 31参照) で最近聴いた曲の共有が可能な「ミュージック」、目的地に無事に到着したことを家族や友人に知らせる「到着確認」を利用できます。

● メッセージに効果を加える



メッセージを入力し、↑をタッチするとエフェクトが表示されます。「吹き出し」のエフェクトでは、吹き出しの動き方や見た目を変更できます。

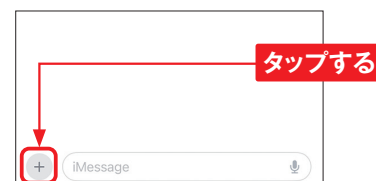
● アニメエフェクトを加える



↑をタッチして「スクリーン」をタップすると、より動きのあるエフェクトが表示されます。「紙ふうき」や「花火」などがあります。

位置情報をメッセージで送信する

① 「メッセージ」アプリでiMessageを利用中に、+をタップします。



② [位置情報] をタップします。位置情報に関する項目が表示されたら [アプリの使用中は許可] をタップして、「メッセージ」アプリの使用を許可します (P.76MEMO参照)。



③ [共有] をタップし、任意の共有時間帯をタップします。



④ ↑をタップすると、位置情報が送信されます。相手が送られた地図をタップすると、「現在地」画面が表示され、より詳細に周辺の地図を確認することができます。また、画面上部の相手の名前または電話番号をタップし、[位置情報をリクエスト] をタップすると、相手の位置情報を求めるメッセージを送信できます。



MEMO リアクションを送る

相手のメッセージをタッチすると、上部にTapbackが現れます。リアクションのアイコンをタップして送信します。





プロフィールを作成する

Safariでは、「仕事」や「趣味」などのテーマごとにプロフィールを作成し、用途に応じて切り替えることができます。プロフィールの設定により、お気に入りや閲覧履歴、タブグループの分類が可能となります。

プロフィールを作成する

- 1 ホーム画面で[設定]をタップします。



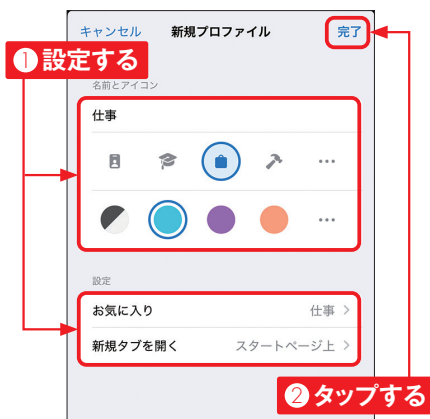
- 2 [アプリ] → [Safari] の順にタップします。




- 3 [新規プロフィール] をタップします。



- 4 「名前とアイコン」「設定」をそれぞれ設定し、[完了] をタップします。



プロフィールを切り替える

- 1 Safariを起動した状態で、ツールバーのをタップします。



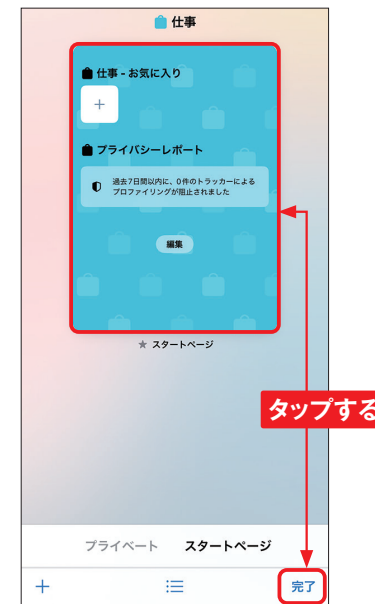
- 2 ≡をタップします。



- 3 [プロフィール] をタップし、切り替えたいプロフィールをタップします。なお、「個人用」はプロフィールを作成すると自動で追加されます。



- 4 初回はスタートページが表示されます。画面に表示されているタブ、または画面右下の [完了] をタップします。



- 5 プロフィールが切り替わります。



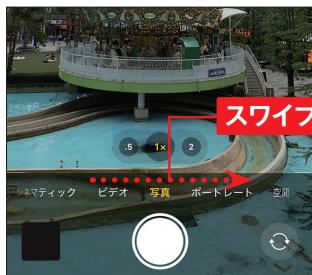


動画を撮影する

iPhoneの動画撮影では、さまざまな機能が用意されています。「アクションモード」や「空間オーディオ」などを利用することで、映画のような本格的な動画撮影も可能です。

動画を撮影する

- ① ホーム画面で「カメラ」をタップし、カメラを起動します。カメラモードが「写真」になっているときは、画面を右方向に1回スワイプし、「ビデオ」に切り替えます。



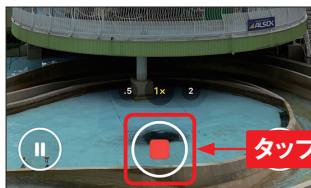
スワイプする

- ② ●をタップして撮影を開始します。撮影中は画面上部の撮影時間が赤く表示されます。撮影中にピンチすると、ズームイン/アウトできます。



タップする

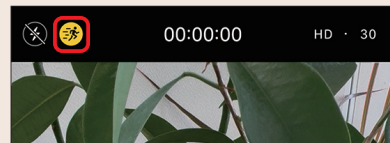
- ③ ●をタップすると、動画の撮影を終了します。撮影した動画を確認するには、画面左下に表示されるサムネイルをタップします。



タップする

MEMO アクションモードを利用する

歩きながら撮影する場合は、手ぶれ補正してくれる「アクションモード」が便利です。手順②で画面左上の●をタップすると、アクションモードが利用できるようになります。なお、アクションモードで撮影できる解像度は最大2.8Kです。



タップする

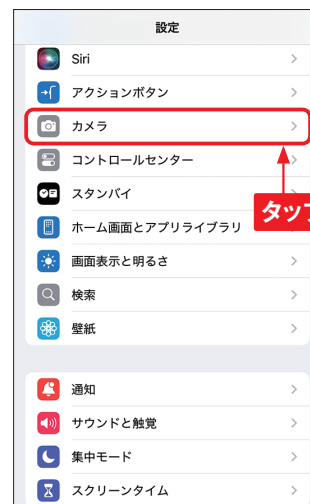
空間オーディオの設定を確認する

- ① iPhone 16シリーズは、動画撮影時に自動的に空間オーディオが有効になっています。初期設定でオンですが、設定を確認しておきましょう。ホーム画面で「設定」をタップします。



タップする

- ② 「カメラ」をタップします。



タップする

- ③ 「サウンド収録」の項目が、「空間オーディオ」になっていることを確認します。「空間オーディオ」ではない場合は、「サウンド収録」をタップします。



- ④ 「空間オーディオ」をタップして、✓を付けます。



タップする

MEMO 空間オーディオを利用する

ビデオ撮影時、横向きで撮影したほうが空間オーディオの効果をより発揮することができます。なお、再生時、本体スピーカーは空間オーディオに対応していますが、ワイヤレスイヤホンなどは、空間オーディオ対応の機器が必要です。



Apple Payで タッチ決済を利用する

Apple Payは、Appleの提供する電子決済サービスです。Suicaやクレジットカードを登録しておく、交通機関を利用するときや、店舗で買い物をするときスムーズに支払いができます。

「ウォレット」アプリにクレジットカードを登録する

- 1 ホーム画面で「ウォレット」をタップします。



- 2 「追加」をタップします。初回起動時は、画面の案内に従って操作します。



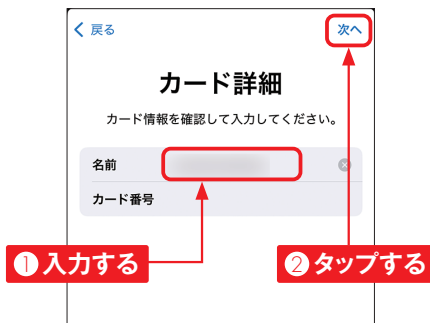
- 3 「クレジットカードなど」をタップします。



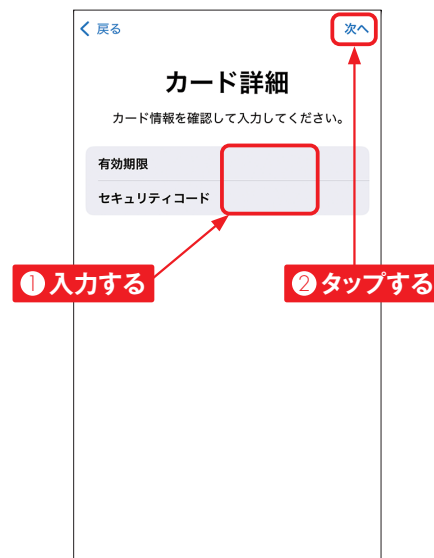
- 4 「続ける」をタップし、iPhoneのファインダーに登録したいカードを写します。



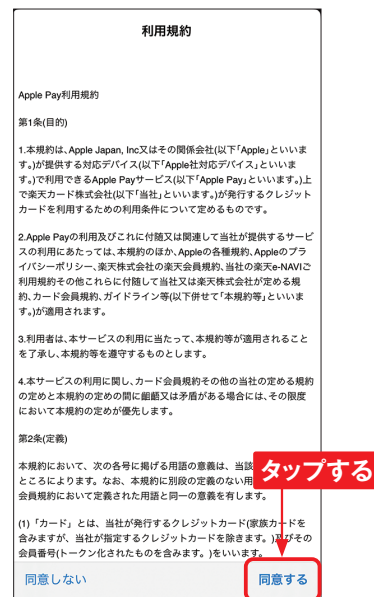
- 5 「カード詳細」画面で「名前」の欄をタップしてカードの名義を入力し、「次へ」をタップします。



- 6 有効期限とセキュリティコードを入力して、「次へ」をタップします。



- 7 「利用規約」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をタップします。



- 8 「完了」をタップします。



- 9 「カード認証」画面が表示されたら、画面の指示に従って認証を行います。





iPhoneを探す

iCloudの「探す」機能で、iPhoneから警告音を鳴らしたり、遠隔操作でパスコードを設定したり、メッセージを表示したりすることができます。万が一に備えて、確認しておきましょう。

④ iPhoneから警告音を鳴らす

① パソコンのWebブラウザでiCloud (<https://www.icloud.com/>) にアクセスし、[サインイン] をクリックします。iPhoneに設定しているApple Account (旧 Apple ID) を入力し、➡をクリックします。



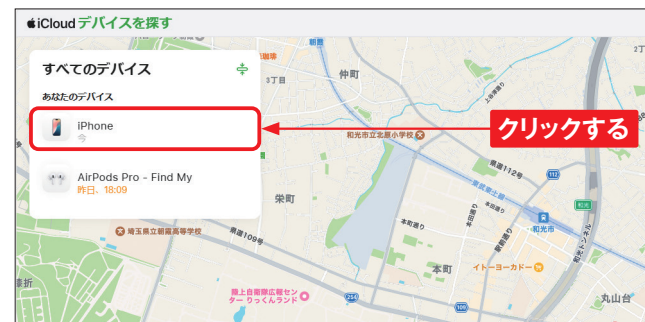
② パスワードを入力し、➡をクリックします。



③ [デバイスを探す] をクリックします。



④ iPhoneの位置が円で表示されます。「あなたのデバイス」のデバイスをクリックします。

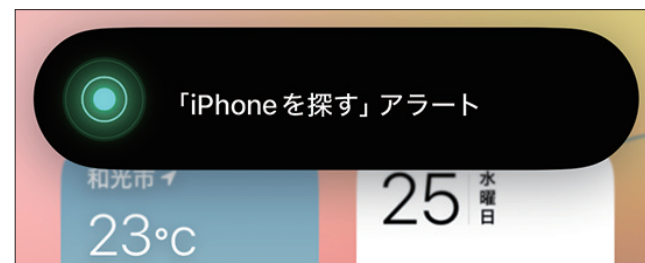


⑤ [サウンド再生] をクリックすると、iPhoneから警告音が鳴ります。

クリックする



⑥ iPhoneの画面にメッセージが表示されます。



MEMO

最後の位置情報を送信する

iPhoneの「探す」機能は、標準でオンになっています。[設定] → 自分の名前 → [探す] → [iPhoneを探す] の順にタップして「最後の位置情報を送信」をオンにすると、バッテリーが切れる少し前に、iPhoneの位置情報が自動で、Appleのサーバーに送信されます。そのためバッテリーがなくなって電源がオフになる寸前に、iPhoneがどこにあったかを知ることができます。また、「探すネットワーク」をオンにすると、オフラインのiPhoneを探すことができ、電源オフになっていたり（最大24時間）、データが消去されてしまったりした端末でも探せます。

ロック画面を カスタマイズする

ロック画面にウィジェットを表示したり、時計の表示を変更したりカスタマイズすることができます。また複数のロック画面をかんたんに切り替えることもできます。



新しいロック画面を追加する

- ① ロック画面を表示して、タッチします。Face IDなどを設定している場合はロックを解除します (P.259参照)。



- ② **+** をタップします。



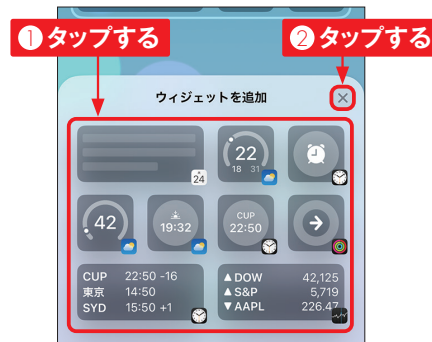
- ③ 設定する壁紙のサムネイルをタップします。



- ④ 選択した壁紙のプレビューが表示されます。[ウィジェットを追加] をタップします (P.237MEMO参照)。



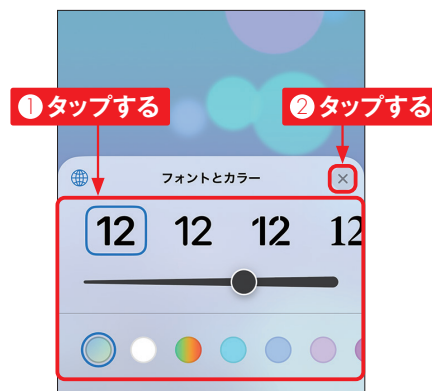
- ⑤ 追加したいウィジェットをタップして、**×** をタップします。



- ⑥ 時刻の下にウィジェットが追加されます。時計の時刻をタップします。



- ⑦ 時刻に表示したいフォントとカラーをタップし、**×** をタップします。



- ⑧ 時刻の表示が変更されます。時刻の上のウィジェットを変更したい場合はタップします。



- ⑨ 変更したいウィジェットをタップし、**×** をタップします。



MEMO ウィジェットを変更する

P.236手順④の画面ですすでにウィジェットが設定されている場合は、「ウィジェットを追加」が表示されません。その場合は、ウィジェット部分をタップし、削除するウィジェットの **○** をタップして削除して、追加したいウィジェットをタップすることで、ウィジェットを変更することができます。



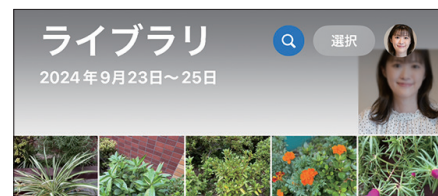
バックアップから復元する

iPhoneの初期設定のときに、iCloudへバックアップ（Sec.54参照）したデータから復元して、iPhoneを利用することができます。ほかのiPhoneからの機種変更のときや、初期化したときなどに便利です。

バックアップから復元されるデータ

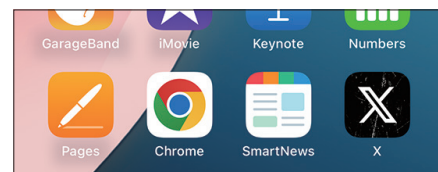
古いiPhoneから機種変更をしたときや、初期化を行ったときには、iCloudへバックアップしたデータの復元が可能です。写真や動画、各種設定などが復元され、App Storeでインストールしたアプリは自動的にダウンロードとインストールが行われます。なお、アプリのデータは個別に移行や復元が必要となります。

● 写真・動画



過去に撮影した写真や動画は、iCloudのバックアップから復元されます。

● アプリ



初期化する前にインストールしたアプリが再インストールされ、ホーム画面の配置が復元されます。

● 設定



各種設定やメッセージなども復元されます。

MEMO 機種変更時などの iCloudストレージ時利用

機種変更や初期化の際に、利用できるiCloudの容量を超えて一時的にバックアップを作成することができます。このバックアップを利用するには、最新のiOSにアップデートして、P.283手順③の画面で、[開始]をタップし、画面の指示に従って操作します。バックアップの保存期間は基本21日間です。

⏻ iCloudバックアップから復元する

- 1 iPhoneの初期設定を進めると、「アプリとデータを転送」画面が表示されるので、[iCloudバックアップから]をタップします。



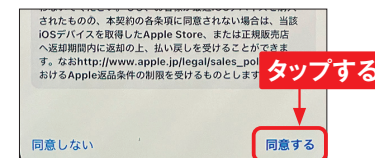
- 2 iCloudにバックアップしているApple Accountへサインインします。Apple Accountを入力し、[continue]をタップします。



- 3 パスワードを入力し、[continue]をタップします。このあと、2ファクタ認証を求められます。



- 4 「利用規約」画面が表示されます。よく読み、問題がなければ[同意する]をタップします。



- 5 古いパスワードの入力を求められた場合は、バックアップを作成したときのiPhoneのパスワードを入力します。「iCloudバックアップを選択」画面が表示されます。復元したいバックアップをタップします。画面の指示に従って初期設定を進めると、復元が開始され、iPhoneが再起動します。



- 6 再起動が終わるとロック画面が表示されます。上方向にスワイプしてパスワードを入力しロックを解除すると、ホーム画面が表示されます。

